

群馬県渋川工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

渋川工業用水道事業は、渋川市の利根川右岸に広がる工業地帯へ工業用水を供給することを目的としている。

○事業の経緯

県の中央部に位置する渋川地区は、地勢、交通、労務供給などの好条件に恵まれた地域であり、従来から電力を基幹とした重化学工業が発達してきたところである。

しかしながら、重化学工業の発展によって、工業用水の量的不足を生じる状態が続き、その水源を地下水に依存していたために、地盤沈下などの問題も生じ始めた。そのため、緊急度の高い工場の工業用水を確保し、併せて今後の企業誘致にも備えるべく、渋川工業用水道を建設することとなり、県の単独事業として昭和38年から建設に着手し、昭和40年8月から給水を開始した。

その後、平成元年度から平成6年度には取水ポンプ、浄水場電気設備及び監視制御設備の更新等の改築事業（一次）を、平成10年度から13年度には給水区域の拡張事業を実施し、平成17年度から平成19年度には配水施設の増強事業を実施した。

現在、供用開始後40年余りが経過し、設備等の老朽化が進んでいるため、一部運転業務に支障をきたしているとともに、高濁度時に水質基準に適合した給水が出来ないことが生じてきていることから、その対策として、平成15年度から平成21年度の前定で改築事業（二次）を行っている。主要な工事としては、機器の老朽化対策としての受変電設備の更新、及び原水調整池の新設並びに導水管路（PC管）の布設替えを実施している。

○施設の概要

渋川市の利根川右岸から取水を行い、約300m離れた沈砂池で不純物を沈降させた後、さらに約800m離れた浄水場で浄水を行い、配水池から給

水区域（渋川市、前橋市、高崎市、吉岡町の各一部）にある受水企業へ配水している。

配水方法は、浄水場付近の企業へは自然流下で、遠隔の地域には途中、増圧ポンプ場を設けて給水を行っている。

現在給水能力は120,000m³/日、導水管路（φ1,100）延長は約1.1km、配水管路（φ1,100～150）延長は約32kmとなっている。

○ユーザー概要

（平成19年3月末現在）

業種	給水件数	契約水量（m ³ /日）
飲料・飼料	1	13,800
化学	4	63,720
鉄鋼	1	11,000
金属製品	2	25,000
合計	8	113,520

○事業の特徴

・工業用水道施設の一元的な管理を行うことにより、事業の一層の効率化及び経営基盤の確立を図るため、前橋市にある管理総合事務所において、平成10年度から運転監視制御を行っている。

○群馬県企業局ホームページ

<http://www.pref.gunma.jp/j/01>

渋川工業用水道事業概要図

